令和２年４月１日

自己点検・自己評価

学校法人湖南学園
早稲田外語専門学校日本語学科

【評価】5：達成している　4：ほぼ達成している　3：どちらとも言えない　2：取り組みを検討中　1：改善が必要

1　理念・教育目標		評価
1	1.1 〈理念・ミッション〉 国際社会で人の役に立てる「グローバル人材」の育成	
2	1.2 〈教育目標〉 本校は学校教育法に基づき、国際化社会の要請に応えて、国際的な舞台での ビジネスはもとより、多方面で広く交流ができるまで、文化・教養を涵養し、 真の国際人として活躍できる人材の育成を目的とする。	
3	1.3 理念、教育目標が社会の要請に合致していることを確認している。	5
4	1.4 理念、教育目標及び育成する人材像が、教職員及び学生に周知されている。	5

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

世界どこの国にいても人の役に立てる「グローバル人材」の育成が当校の使命と考える。そのため語学 の習得のみならず、校外学習や文化体験を通して、その国自体への理解を深め、コミュニケーションが円滑に取れる人物を養成する。マスプロ教育を廃し、少人数教育に徹し、学生一人一人に寄り添った教育を実践している。今後、よりグローバル化する世界に有能な人材を送り出すべく独自の教育プログラムの開発、実践を未来に向かって行っていきたい。

教育理念、目標についてはパンフレット、ホームページに掲載されており、入学時のオリエンテーション、職員研修の際に周知をしている。

2　学校運営		評価
5	2.1 日本語教育機関の告示基準に適合している。	5
6	2.2 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	5
7	2.3 管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営が行われている。	5
8	2.4 意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している。	5
9	2.5 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。	5
１０	2.6 外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある。	5
１１	2.7 学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。	5
１２	2.8 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。	5
１３	2.9 業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	4

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

毎年度当初に事業計画、運営方針の策定を行っている。学校長統括の基、教務部門、事務部門の連携によりスピード感のある意思決定がなされている。ＰＣ、クラウドなど情報システムを活用した業務の効率化が図られている。理事会、評議委員会による客観的な学校運営の評価が定期的になされている。各クラスの担任及び、副担任を専任講師が担い、留学生担当者と連携し、学生個々の生活状況、進学、就職、生活面での相談の機会を設け、情報を共有し把握している。目安として半年に 2 回程度、個別 面談を実施し、個人の進路、生活面のサポートを行っているが、専任講師（職員）が担当クラスの学生全員の連絡を行い、緊急時にはクラスまたは個別にすぐに連絡できる体制を取っている。また、留学生に関しては出席不良、病気、問題発生時等には、母語話者の職員が現地留学センター及び保護者へ連絡・説明、経過報告等を行っている。

業務、学校運営の見直しについては定期的に職員会議を開き、教務課長統括のもと、業務の配分とフィードバックを行っている。業務の負担が偏らないよう、今後も効率的に学校運営ができるよう検討、改善したい。

3　教育活動の計画		評価
１４	3.1 理念･教育目標に合致したコース設定をしている。	5
１５	3.2 教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	5
１６	3.3 国内､又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている。	5
１７	3.4 教育目標に合致した教材を選定している。	5
１８	3.5 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法留意している。	3
	注：教材等の著作物（電子媒体を含む。）の複製について著作権法上の制限事項・禁止事項を教員及び学生に伝えなければならない。	
１９	3.6 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	5
２０	3.7 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	5

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

専任講師が各レベルのカリキュラムの作成、監督、非常勤講師への指導を行っている。各レベルで各種検定試験の目標レベルやＪＦスタンダードをもとにした言語行動目標を設定し、学生及び講師 が明確な目標に向かい授業が運営できるような体制がある。学期の最後に学生と講師に自己評価、授業評価、講師評価、教材、カリキュラムの評価をアンケートによって調査し、その結果を次の期のコースデザインや講師への指導に反映させている。経験 1 年未満の補助教材、生教材の出典については明記しているが、試験対策問題集のコピー使用については、引き続き使用禁止を呼びかけ、徹底に努めたい。

4　教育活動の実施		評価
２１	4.1 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	5
２２	4.2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	5
２３	4.3 開示されたシラバスによって授業を行っている。	5

２４	4.4 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	5
２５	4.5 理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っている。	5
２６	4.6 学生の自己評価を把握している。	5
２７	4.7 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っている。	5
２８	4.8 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている。	5

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

学習到達レベル、プレイスメントテストの結果によって細かくクラスが分けられ、初級から上級まで体系的に学べるようクラス編成を行っている。新学期前に筆記試験及びインタビューによって学習目的、学習歴、進路希望、日本語能力を測定し担当教員で情報を共有している。各クラスに担任と担当の専任を配置し、出席管理、授業の進度状況を記録し、個別指導の必要な学習者に適宜指導を行っている。正規生コースだけでなく、聴講生制度を設け、家族滞在や短期留学、大学院進学者の補助学習など多様な学習環境にある日本語学習者を受け入れるとともにプライベートレッスンでの個別指導も請け負っている。特定の支援を必要とする学習者に対しては、その都度、母語話者の事務職員や担当専任が相談やカウンセリング 等を行い、病気・事故・怪我の際には、診療機関の情報提供や、校舎近隣のクリニックや総合病院及び夜間診療へ母語話者の職員が付き添うなど英語・韓国語・中国語・ベトナム語で迅速に対応できるよう体制を整えている。感染症予防対策としては、学校内でガイドラインを作成し、発症者がいた場合は医療機関と保健所の助言、指導の下、適切に対処をしている。

5 成績判定と授業評価		評価
２９	5.1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また判定基準と方法を開示している。	5
３０	5.2 成績判定結果を的確に学生に伝えている。	5
３１	5.3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	5
３２	5.4 授業評価を定期的に実施している。	5
３３	5.5 評価体制、評価方法及び評価基準が適切である。	5
３４	5.6 学生による授業評価を定期的に実施している。	5
３５	5.7 授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。	5

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

当校は前期、後期に分かれ、3 か月に 1 度定期 試験を実施し、成績の結果を見てクラスの再編成を行っている。成績はすべての科目において学生に開示し、フィードバックを行い、必要な学生に追試を実施している。成績評価は四技能の他に、授業態度や提出物、出席率を見て判定し、クラス担任が成績表を記入している。半年に一度教員、学生に自己評価と授業評価を問うアンケート調査を行い、全体会議で開示するとともに、次の学期のクラス編成やコースデザインに役立てている。アンケート調査の結果を踏まえ、教員の研修と学生への学習支援を行っている。

6　教育活動を担う教職員		評価
３６	6.1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	5
３７	6.2 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している。	5
３８	6.3 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	5
３９	6.4 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組をしている。	5
４０	6.5 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	4
４１	6.6 教員及び職員の評価を適切に行っている。	5

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

教員採用について採用方法、条件について明文化し、面接、模擬授業の評価によって最低 3 か月間の研修を実施している。半年に 1 回の学生からの授業評価をもとに教員の指導や研修を行い、教育の質を維持している。また外部の研修や勉強会の情報を共有し、支援力強化の取り組みを行っている。総合英語学科、日本語学科両学科合同で衛生委員会を運営し、産業医の指導のもと職場環境（ハラスメントの防止やメンタルヘルスマネジメント等）の向上、教職員の健康増進に努めている。

7　教育成果		評価
４２	7.1 入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	5
４３	7.2 修了・卒業の判定を適切に行っている。	5
４４	7.3 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	5
４５	7.4 卒業又は修了後の進路を把握している。	5
４６	7.5 卒業生及び修了生の状況を把握するための取組を行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。	3

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

修了、卒業の認定基準を明文化し、募集時、入学後に説明を行っている。日本語留学試験、日本語能力試験の受験希望者は学校が一括で団体申し込みを行い、結果を把握し、担当教員に開示している。クラス担任が定期試験の結果を踏まえ成績を記録し、学校が一定期間保管するとともに、個別面談で進路状況を定期的に確認し、専任に報告している。進学した卒業生については進学先から定期的に就学状況を確認しているが、就職した学生については本人からの報告以外に就職先からの勤務状況、社会的評価を把握する手段を今後の課題としたい。

8　学生支援		評価
４７	8.1 学生支援計画を策定し、支援体制を整備している。	5
４８	8.2 生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限を明確化している。また、これらの者を学生及び教職員に周知している。	5
４９	8.3 日本社会を理解し、適応するための取組を行っている。	5

５０	8.4 留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的に実施している。	5
５１	8.5 住居支援を行っている。	5
５２	8.6 アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	5
５３	8.7 健康、衛生面について指導する体制を整えている。	5
５４	8.8 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入している。	5
５５	8.9 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	5
５６	8.10 交通事故等の相談体制を整備している。	5
５７	8.11 危機管理体制を整備している。	5
５８	8.12 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的に実施している。	4
５９	8.13 気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している。	5

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

現地仲介と連携して、学生入国前に入国便及び住居を把握するようにしている。 寮については女子寮を徒歩圏内の直営寮を保有している。また、提携寮とは管理人や管理会社と連携して 情報を共有し、問題発生時にはすぐに管理人及び当校のスタッフが対応できる体制を整えている。

入学直後に言語別にオリエンテーションを行い、校則、法律、出席率、ビザ更新、資格外活動、法定手続き等、詳しく説明している。また、毎日クラス担任講師を集めて朝礼・昼礼を行い、その都度危機発生時での対応や必要な情報を学生に提供できるようにしている。学生の情報については、学生記録カードを作成して、個人情報の他、アルバイト先の情報、同居人の情報、母国の情報などを記録し、クラス別に紙媒体及びデータベースで個人情報を管理している。定期的にクラス担任と面談を行い、内容を確認し、変更があった場合はその場で手書き訂正し、データに反映させている。1か月に一度、定例会議を行い、出席管理、進路状況などの担当クラスの学生情報について専任が報告をし、職員全体で最新の情報を共有できる機会を設けている。

危機管理については「危機対応マニュアル」を作成し、各教職員に周知するとともに、各部署に担当者を置き、学期ごとの会議においてマニュアルの再確認やその時々にあった更新が行われる。

9　進路に関する支援		評価
６０	9.1 進路指導担当者を特定している。	5
６１	9.2 学生の希望する進路を把握している。	5
６２	9.3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	5
６３	9.4 入学時からの一貫した進路指導を行っている。	5

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

クラス担任及びクラス担当の専任が定期的に個別面談を通して進路希望調査を行うとともに、指導を行っている。ロビーに進学先のオープンキャンパス、進学説明会、求人広告を掲示し、閲覧できるようにしている。また必要な情報を検索できるよう学生用ＰＣが配置されている。

10　入国・在留に関する指導及び支援		評価
６４	10.1 入管事務担当者を特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	5
６５	10.2 担当者は、研修受講等により最新、かつ、適切な情報取得を継続的に行っている。	5
６６	10.3 地方出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置している。	5
６７	10.4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	5
６８	10.5 在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。	5
６９	10.6 在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。	5
７０	10.7 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。	5
７１	10.8 過去 3 年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。	5

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

入学前、入学直後に言語別にオリエンテーションを行い、校則、法律、出席率、ビザ更新、資格外活動、法定手続き等、詳しく説明している。

11　教育環境		評価
７２	11.1 教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。	5
７３	11.2 授業時間外に自習できる部屋を確保している。	5
７４	11.3 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	5
７５	11.4 視聴覚教材や IT を利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	5
７６	11.5 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	5
７７	11.6 同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。	5
７８	11.7 法令上必要な設備等を備えている。	5
７９	11.8 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	5
８０	11.9 バリアフリー対策を施している。	2

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

施設･設備は「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合しており、定期的（年１回）に点検し、安全確保 に努め、適切に整備・運用されている。本校ロビーと姉妹校の早稲田ゼミナール内の自習室が利用できるように整備されている。 ＡＶ機器、ＰＣ、プロジェクター設備を備え、使用状況を管理し、定期的に点検している。バリアフリー対策については手すり、エレベータは施されているが、近隣施設での多目的トイレの案内ができるよう今後の課題としたい。

12　入学者の募集と選考		評価
８１	12.1 理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	5
８２	12.2 機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	5
８３	12.3 教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	5
８４	12.4 海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	5
８５	12.5 入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	5
８６	12.6 学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うよう努めている。	5
８７	12.7 入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	5
８８	12.8 入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	5
８９	12.9 関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている。	5

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

韓国には現地事務所、VIETNAM と中国においては統括事務所（職員）を設置している。台湾へは職員が最低年 2 回現地出張を実施し、その他の国については信頼できる現地仲介と契約し、留学生担当(取次者)、専任講師や母国語が話せる者が立ち会ってオンライン面接を実施し、学習意欲、留学目的、経費支弁能 力、人物確認を行っている。特に経費支弁能力・学習意欲の高い学生を厳選することによって、多国籍に なってもお互い尊重し合いながら目標に向かって勉強できるような学校作りを行っている。 定員については設備及び教員数は適切であり、クラスが増えても対応できる余裕を持たせている。また、学生の継続希望を定期的に調査し、入学希望者と在籍者数を調整している。

13　財務		評価
９０	13.1 財務状況は、中長期的に安定している。	5
９１	13.2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	5
９２	13.3 適正な会計監査が実施されている。	5

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

当学校法人においては、所有する預金残高・保有資産等を鑑みて十分な財務基盤が確立されている。この点は中長期的にも、ほぼ安定した財務基盤にある。予算・収支計画については、理事会・評議委員会の場で、公開及び検討の後、承認を受けており有効かつ妥当なものである。適正な会計処理を税理士法人と連携し行い、財務および経営の状況を把握している。その後、監事による会計監査、理事会、評議委員会における監査報告を行い、承認を受けている。また、適正な予算の執行のため決算報告に加え、上半期の中間報告も実施している。よって会計監査は適正に達成されている。財務情報公開についても、閲覧希望者には学園窓口で公開するなど適正に対処している

14　法令遵守		評価
９３	14.1 法令遵守に関する担当者を特定している。	5
９４	14.2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。	5
９５	14.3 個人情報保護のための対策をとっている。	5
９６	14.4 地方出入国在留管理局、その他関係官公庁、日振協等への届出、報告を遅滞なく行っている。	4

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

当校は法令、設置基準等を遵守し、文科省、法務省、東京都、新宿区への各種報告も定期的に行っている。個人情報に関しては扱う職員を限定し、ＰＣにファイアーウォールを設置し、ウイルスソフトウエアも随時更新し、定期的に変更を行う強固なパスワードでガードし、外部への流出が起こりえないよう運用 している。自己点検・自己評価は定期的に実施し、更新されたホームページ公開することになっている。

15　地域貢献・社会貢献		評価
９７	15.1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	2
９８	15.2 学生ボランティア活動への支援を行っている。	2
９９	15.3 公開講座等を実施している。	3

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

校舎屋上にＮＴＴドコモのアンテナを設置し、学校周辺地域の電波環境の向上に寄与している。また、校舎敷地内に自動販売機を設置し、市価より安価で飲料を販売し、周辺居住者等にも好評を得ている。教員希望者で授業見学を希望する場合は公開している。日本人ボランティアを募集し、校内の授業参加や文化交流会を開催している。在校生と入学希望者に限り、オンライン等で特定の講座を公開している。社会貢献への対応で遅れている部分については、今後早急に検討し、改善および公表を行っていきたいと考えている。